

学び支援教室事業の対象

学校不適応に陥った児童生徒

早期発見

学級で学習や集団生活
に困難を抱える子ども

早期対応

不登校を起こして
しまった子ども

学び支援教室での適応支援

登校継続支援

- 居場所づくり
- 拠り所：支援者

集団活動
促進支援

- 仲間づくり
- 集団遊び

学習支援

- 基礎学力獲得
- 自信と意欲回復

組織的・計画的支援

アセスメント

■ 学力と社会性をアセスメント

- ☐ 学習との関係
- ☐ 級友との関係
- ☐ 教職員との関係
- ☐ 家族との関係

指導計画

■ 無理なくステップアップ

- ☐ 確実にできる課題を積み上げ
- ☐ 個別の関係づくりから集団遊びに
- ☐ 個別の関係づくりから集団支援に
- ☐ 家庭環境にはSC・SSWも活用

アセスメントと指導計画策定

アセスメント・シート（別添）

- アセスメント・シートの(3)は、項目に沿って本人に質問し、埋めていくだけで全体像がつかめるように作成しました
- 特に「将来像」は、子どもに取り込まれている自己像をつかむ重要なポイントで、「将来はどんな大人になりたい？」と質問すると、その回答から支援の糸口が開けることもあります
- わからないところは飛ばし、とにかく全体像をつかみましょう

指導計画策定

- 学び支援教育コーディネーターの力を借り、子供の問題に応じた具体的なアクションプランを立てましょう

内容別コンサルテーション適任者

学び支援教室 コーディネーター	何をどのように支援して良いかわからない、 支援チームの編成、マンパワーの活用、 チームの人間関係がうまくいかない
特別支援教育 コーディネーター	＜発達障害が予測される対象児＞ 指導計画の作成、学習教材の選定、 対応方法の指導助言
スクールカウンセラー	問題行動、神経症、精神的不安定、受診 要否、個別のカウンセリング、保護者面接
スクールソーシャル ワーカー	家庭環境調整、福祉資源活用、 家庭訪問支援
管理職	問題に対する支援のマンパワー不足、 学び支援教室コーディネーターとの関係

別室登校に対するチーム支援

1. 家庭訪問支援
2. 別室環境への適応支援
3. 学校環境への適応支援
4. 学級復帰支援
5. 部分参加を経た学級復帰